

学校給食あり方検討委員会からの最終答申書手交式の開催について

中学校給食の全員喫食の実現に向け、学校給食あり方検討委員会に諮問した「全員喫食の環境を活用した食育の方針」等に係る最終答申書手交式について、次のとおり開催しますのでお知らせします。

1 日時・場所

令和5年7月10日(月) 午後2時
市役所本庁舎第2別館5階 教育委員会室

2 参加者

相模原市学校給食あり方検討委員会 委員長 川崎 一泰氏(中央大学総合政策学部教授)
相模原市教育委員会 教育長 渡邊 志寿代

3 概要

別紙のとおり

4 その他

当日の取材を希望される方は、以下の問合せ先に7月10日(月)正午までにご連絡ください。

※最終答申について

教育委員会では、中学校給食の全員喫食のあり方について、「本市にとってふさわしい給食提供の実施方式」及び「全員喫食の環境を活用した食育の方針」の2点を、令和4年6月21日に学校給食あり方検討委員会に対し諮問しており、このうち「本市にとってふさわしい給食提供の実施方式」に係る中間答申を同年11月7日に受けています。

最終答申は、続けて審議された「全員喫食の環境を活用した食育の方針」を中心に、中間答申の内容も含め答申されるものです。

問合せ先

学校給食課

電話：042-769-1392

学校給食あり方検討委員会 最終答申の概要

中学校給食の方向性

可能な限り早期実現
持続可能な運営

安全安心
温かい給食

学校給食を活用した
食育の充実

本市にとってふさわしい
給食提供の実施方式

センター方式を基本

新たな給食センター
は最低でも2か所

中学校給食における食育の充実に向けた基本的な考え方

1. 成長期の心身の健康の保持増進 →
 - ・生徒に望ましい栄養量・献立内容の提供
 - ・アレルギーなどの個別事情への対応
2. 食に関する指導の強化充実 →
 - ・栄養素などに関する情報発信の強化
 - ・提案献立事業の継続的实施
 - ・各教科との連携強化・適時の献立提供
 - ・地場産物や環境、資源に配慮 など
3. 食を楽しむ環境の整備 →
 - ・行事食や郷土料理などの多彩な献立
 - ・コミュニケーション機会の確保充実
 - ・リクエスト給食などの実施
 - ・適切な喫食時間の確保

具体的な取組内容(例示)

食育の推進体制の整備

- 給食センター配置の栄養教諭等を中核とし、推進体制を整備